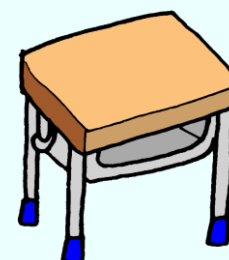




呉 羽 地 域



市立小・中学校の 将来のあり方について

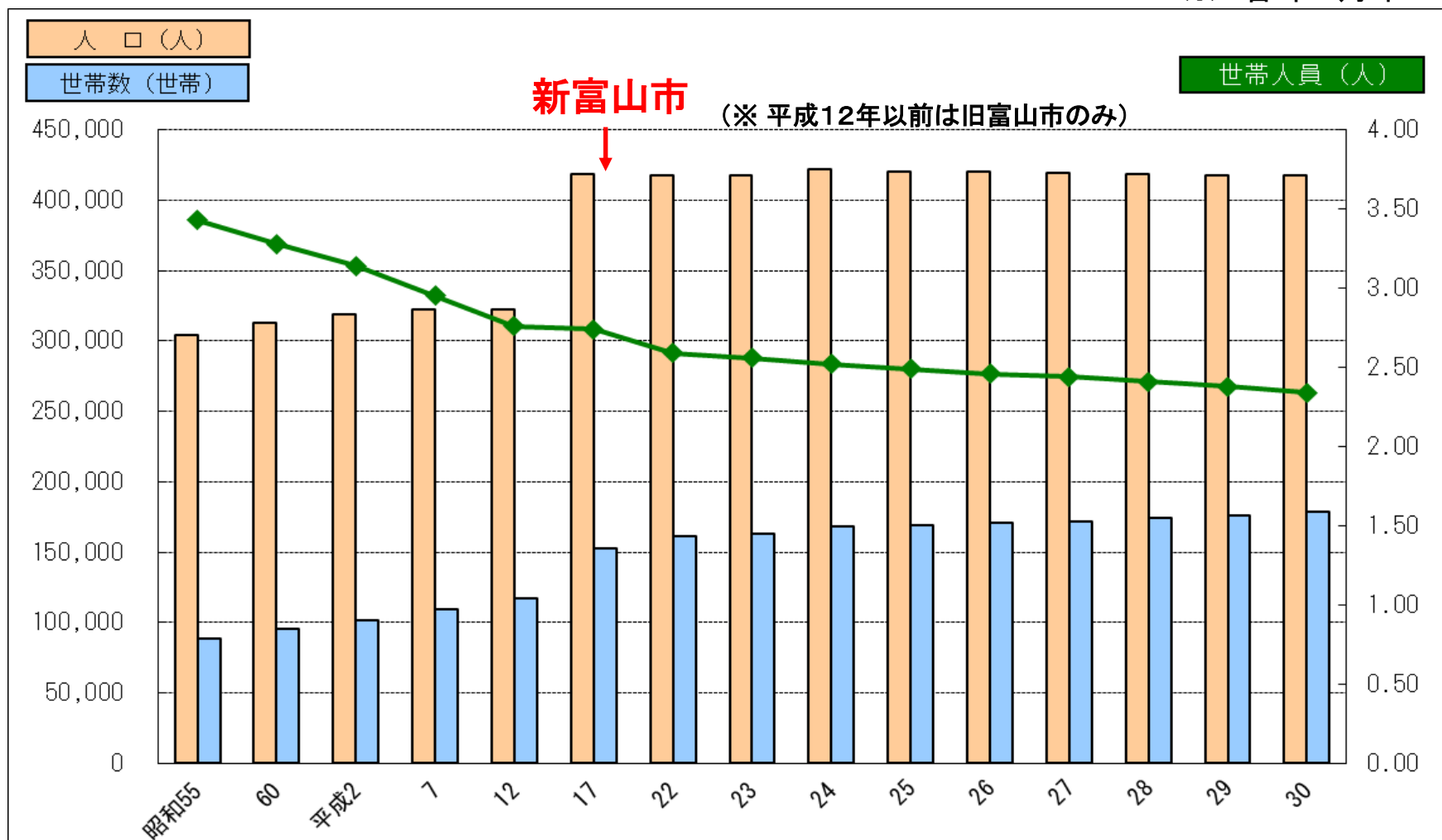


富山市教育委員会

1 富山市全体の状況

(1) 人口の推移

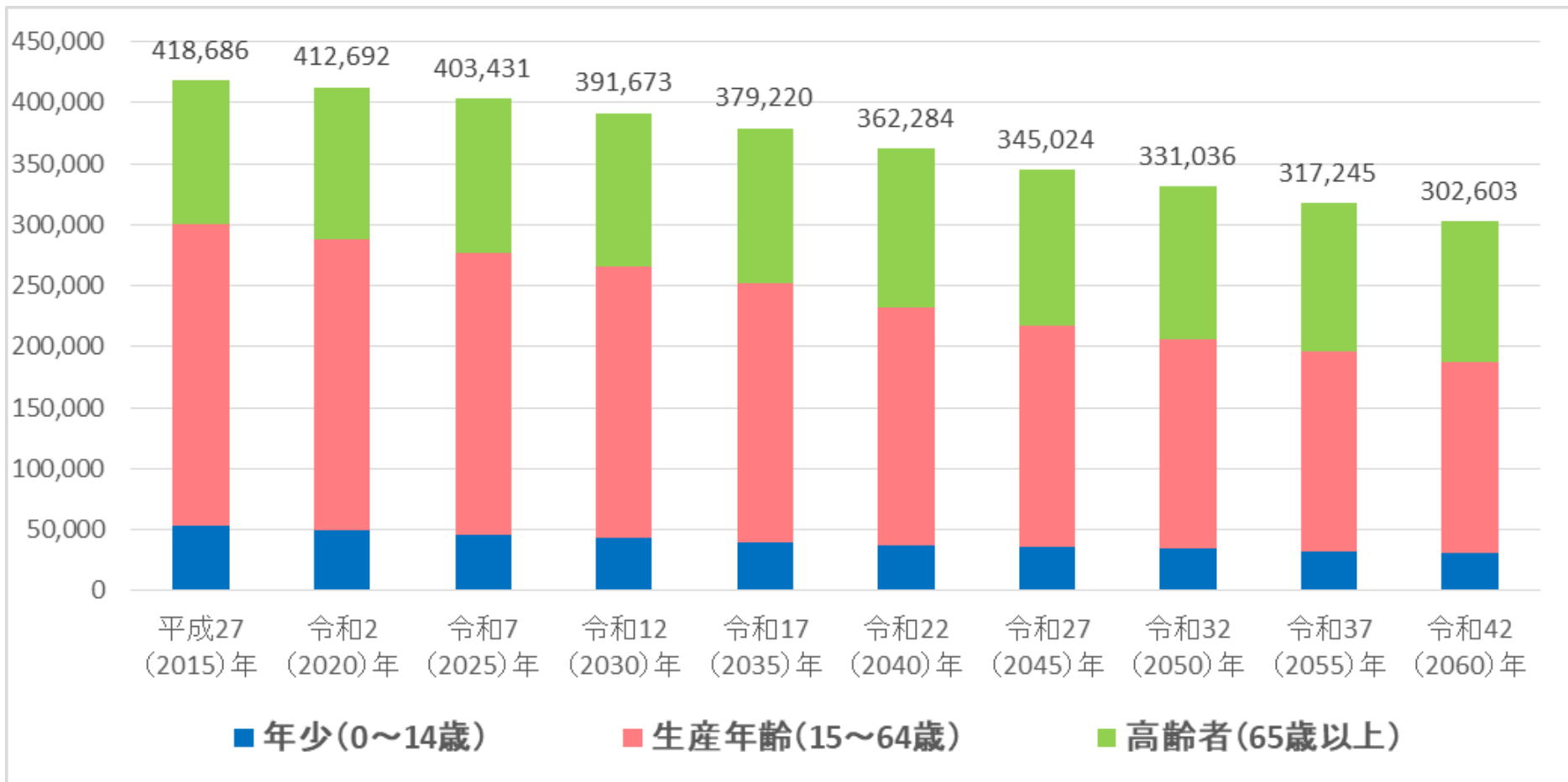
※ 各年9月末



1 富山市全体の状況

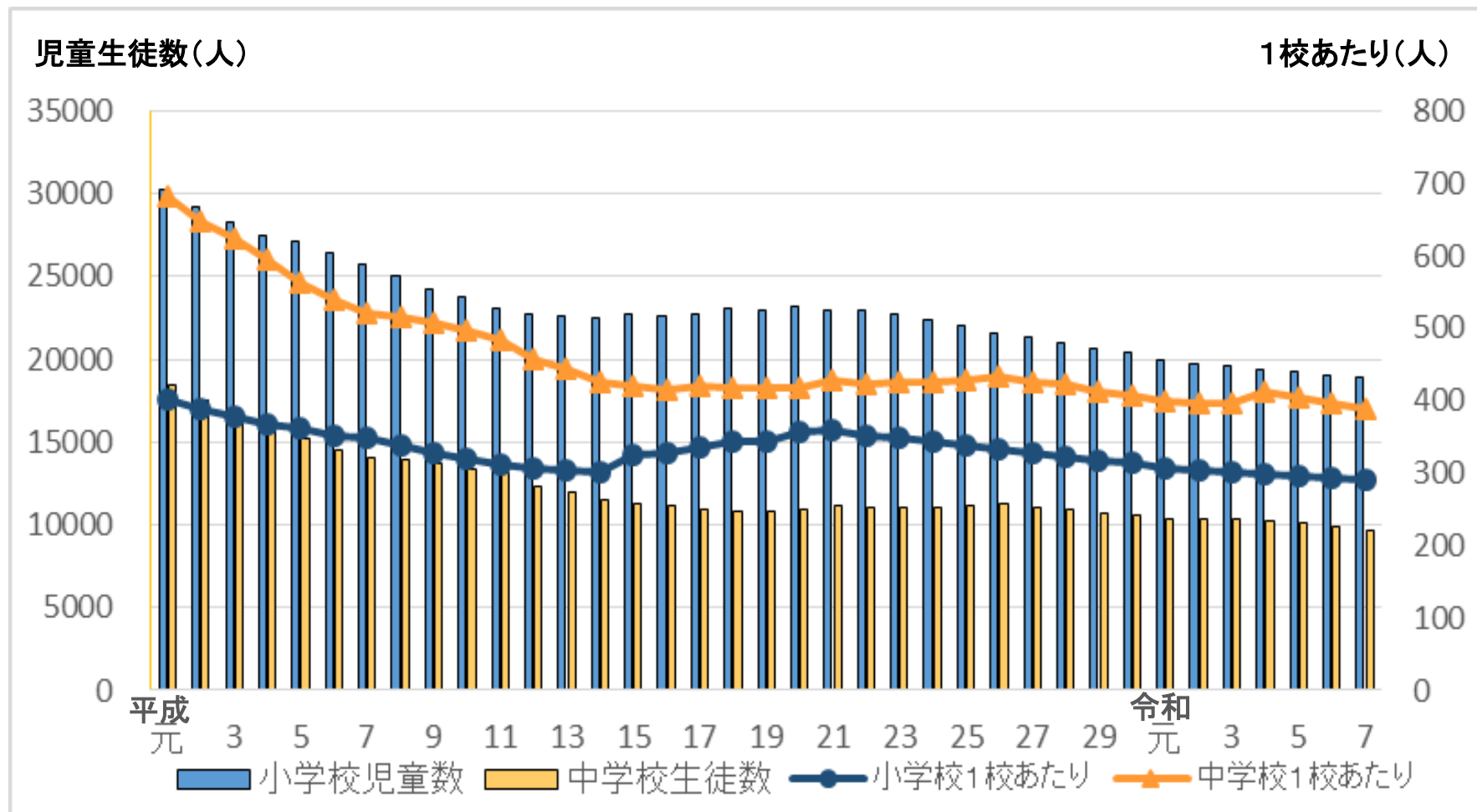
(1) 人口の推移

人口(人)



1 富山市全体の状況

(2) 市立小・中学校の児童生徒数の推移



1 富山市全体の状況

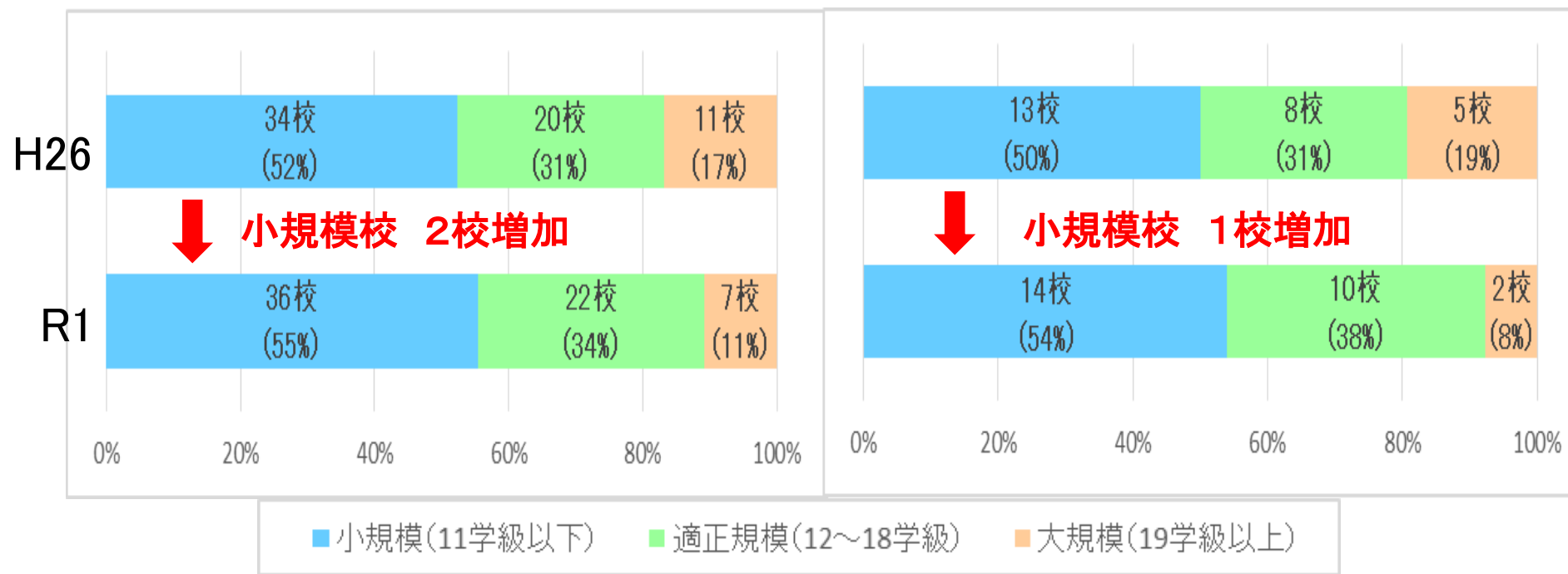
(3) 市立小・中学校の学校規模

標準（適正規模）：1校あたり 12～18学級

（※学校教育法施行規則）

小学校

中学校



市立小・中学校の5割以上が小規模校

2 呉羽地域の状況

(1) 人口の推移

人口(人)

28,000

27,000

26,000

25,000

24,000

23,000

22,000

21,000

0

平成 17

22

23

24

25

26

27

28

29

30

【内訳】

H17

H30

呉羽地区 13,260人→12,646人 Δ 614人

長岡地区 4,593人→ 4,123人 Δ 470人

寒江地区 1,827人→ 1,723人 Δ 104人

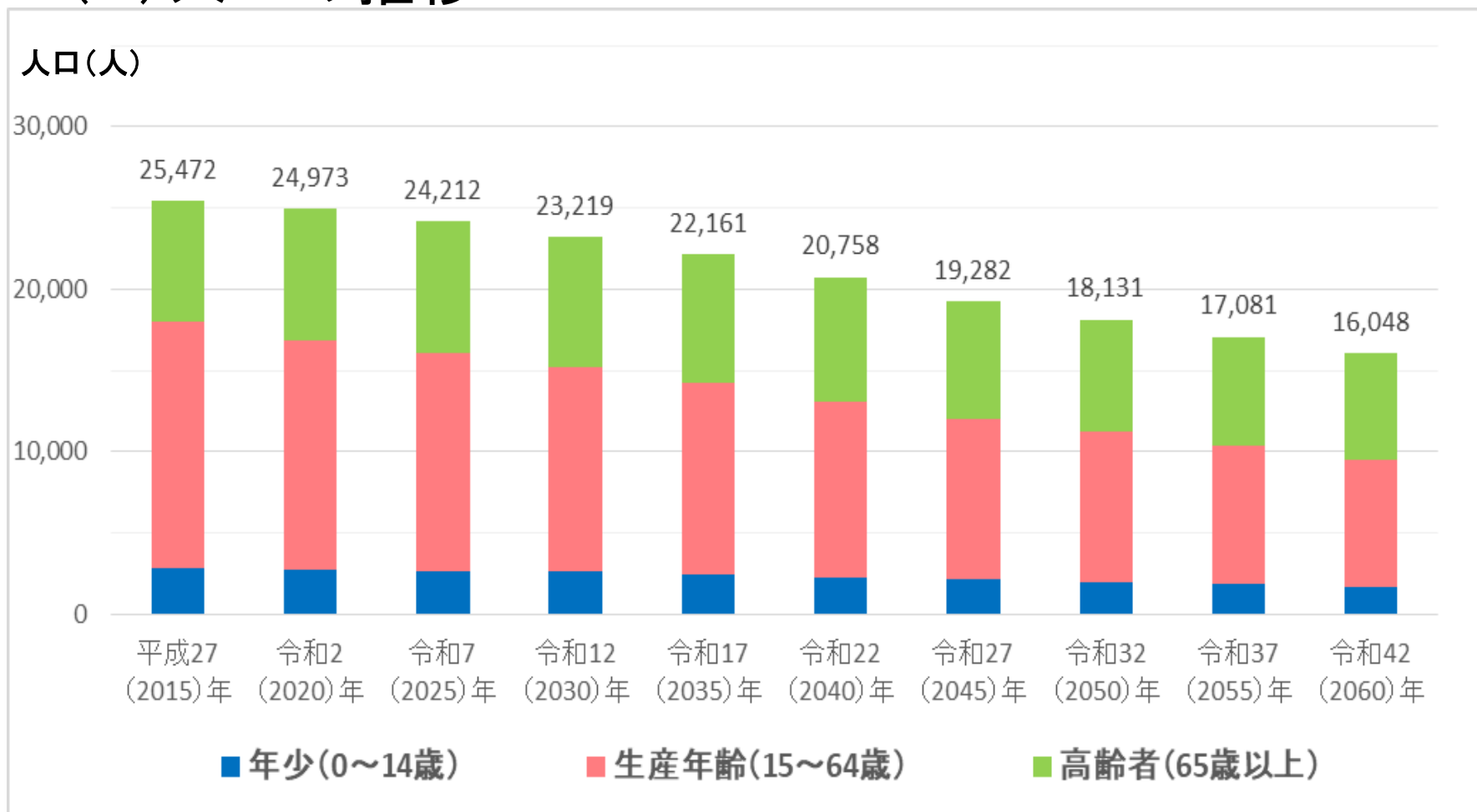
老田地区 3,652人→ 3,372人 Δ 280人

古沢地区 2,000人→ 1,727人 Δ 273人

池多地区 1,173人→ 1,030人 Δ 143人

2 呉羽地域の状況

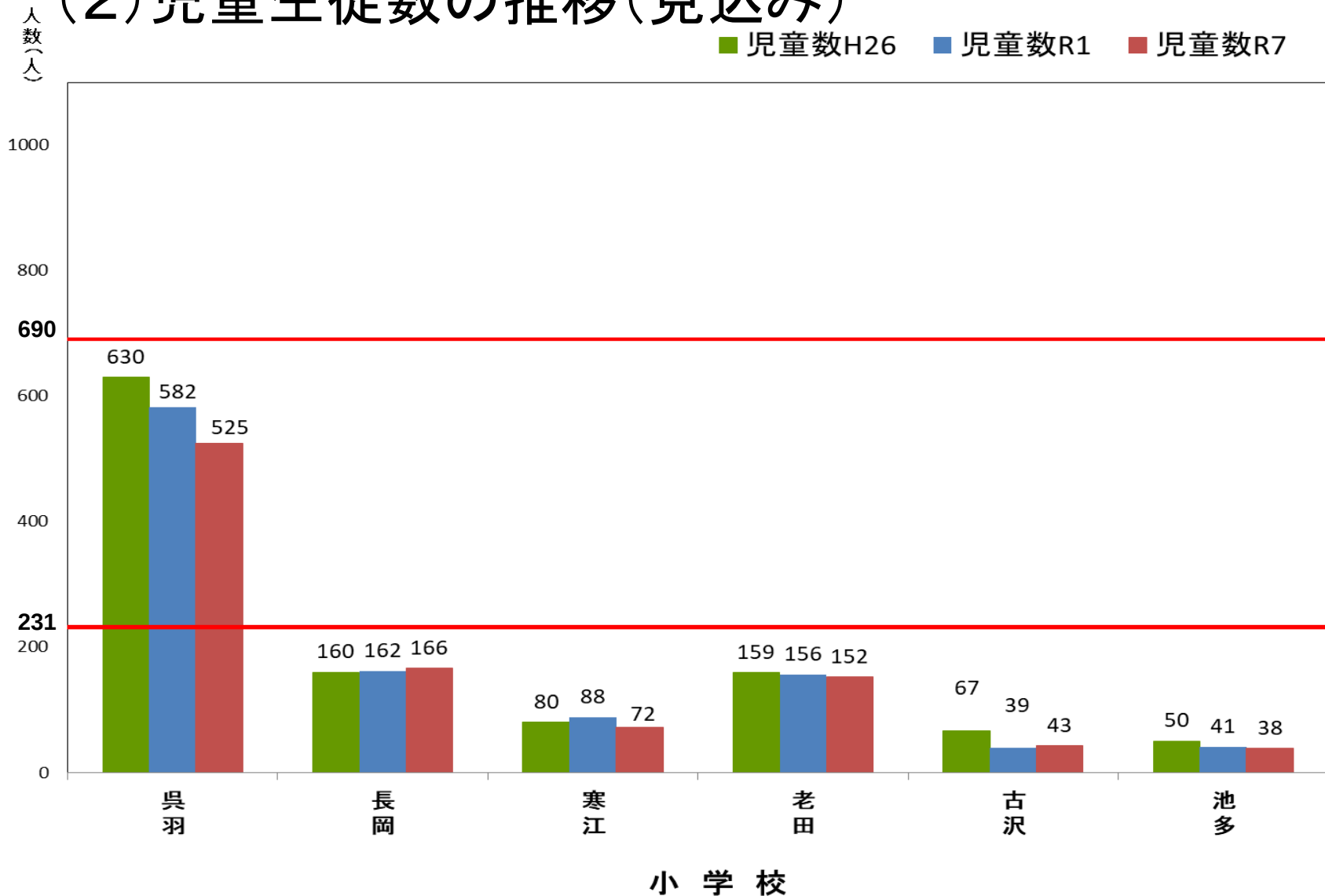
(1) 人口の推移



※「富山市公共施設マネジメント アクションプラン戦略編」の人口推計を基に作成

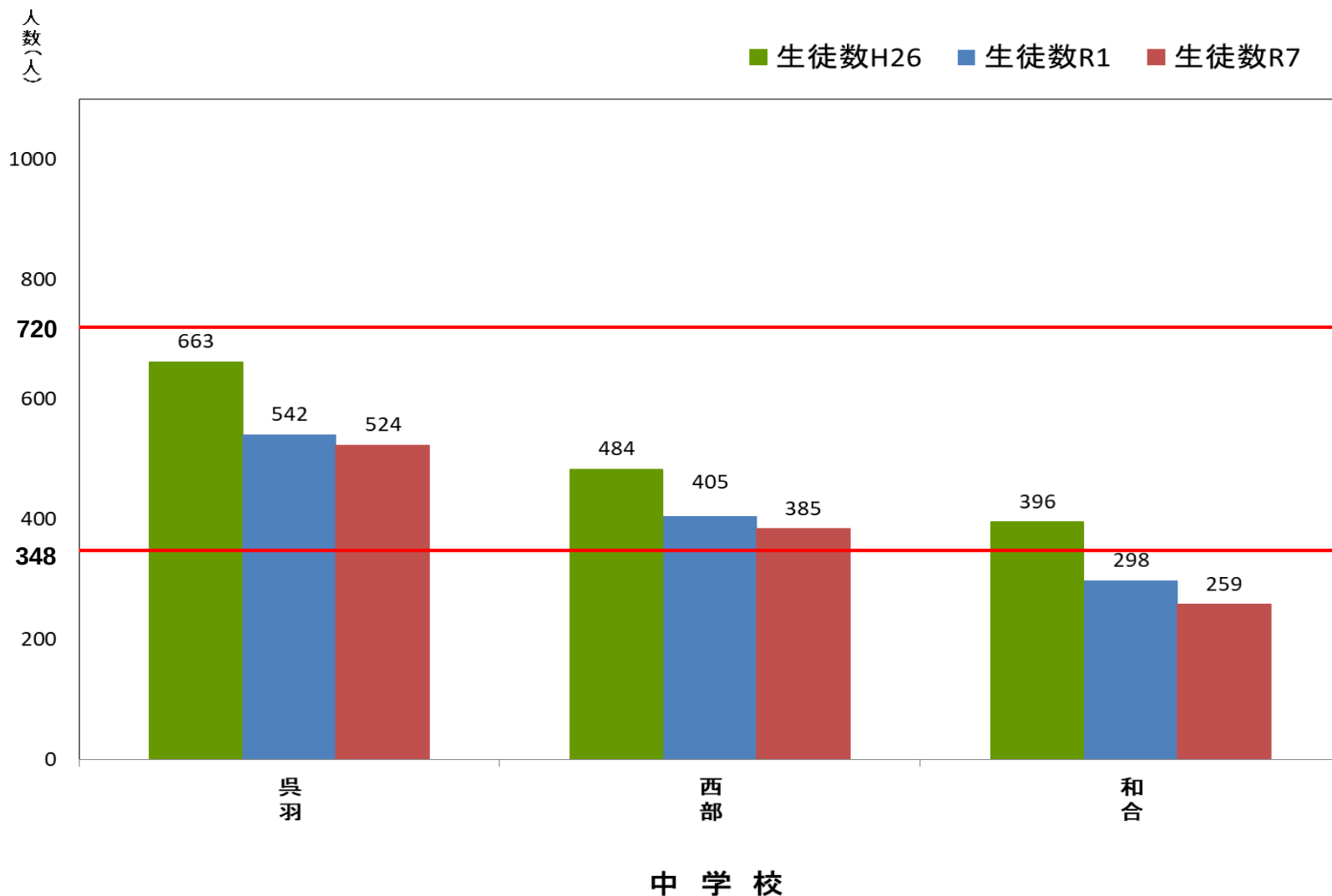
2 呉羽地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)



2 呉羽地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)



2 呉羽地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

児童数(人)

複式学級

小学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
呉羽小	H 2 6	19	88	113	96	103	110	120	630
	R 1	18	88	98	102	95	113	86	582
	R 7	18	78	89	92	91	91	84	525
長岡小	H 2 6	6	29	26	21	19	34	31	160
	R 1	6	25	31	27	26	23	30	162
	R 7	6	33	27	29	18	26	33	166
寒江小	H 2 6	6	17	8	12	11	18	14	80
	R 1	6	14	10	12	25	9	18	88
	R 7	6	15	7	14	8	13	15	72
老田小	H 2 6	6	27	25	28	25	28	26	159
	R 1	6	24	26	25	20	33	28	156
	R 7	6	31	18	22	29	28	24	152
古沢小	H 2 6	6	6	10	8	14	15	14	67
	R 1	4	8	6	8	6	5	6	39
	R 7	4	5	10	4	9	6	9	43
池多小	H 2 6	5	12	6	5	8	11	8	50
	R 1	4	9	5	4	4	8	11	41
	R 7	4	4	4	7	5	9	9	38

大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

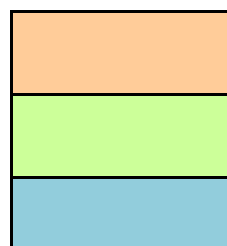
小規模 (11学級以下)

2 呉羽地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

生徒数(人)

中学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	合計
呉羽中	H 2 6	18	222	224	217	663
	R 1	16	189	170	183	542
	R 7	15	167	174	183	524
西部中	H 2 6	14	136	167	181	484
	R 1	12	122	133	150	405
	R 7	12	129	129	127	385
和合中	H 2 6	12	134	136	126	396
	R 1	9	94	105	99	298
	R 7	9	85	84	90	259



大規模（19学級以上）

適正規模（12～18学級）

小規模（11学級以下）

(4) 学校の位置



2 呉羽地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

呉羽小

S61 校舎改築竣工

長岡小

S59 校舎新改築竣工

H7 校舎増築竣工

寒江小

S53 校舎新改築竣工

H6 校舎増築竣工

H30～R1 耐震補強工事

老田小

H25 校舎改築竣工

H29 プール改築竣工

古沢小

H4 校舎増築竣工

H25 校舎大規模改造竣工

池多小

S57 校舎新改築竣工

2 呉羽地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

呉羽中学校

H20 校舎改築竣工

3 小規模校における教育

(1) 小規模校のよさ

- 一人ひとりの子どもに対して、きめ細かな指導ができる。
- 学校行事で子どもたちの活躍の場が多い。
- 他学年や地域の方と交流活動がしやすく、親交を深められる

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小・中学校共通

- クラス替えがないため、多様な考えに触れる機会や、社会性や規範意識を身につける機会が得られにくい。
- 体育のバスケットボール等の団体競技や音楽の合唱等が行いにくい。
- 経験年数、専門性、男女比など、教員をバランスよく配置できない。

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小学校

- 複式学級となる場合には、教員が複数学年分の指導準備を行うこととなり、各学年へのきめ細かい指導が行いにくい。
- 教務主任が学級担任を兼務するなど、一人の教員にかかる負担が大きくなる。

中学校

- 9教科10科目すべての教員がそろわず、一部の教員が専門以外の教科の授業を行わなくてはならない。

※ 教科担当教員の配置 1校3学級→6人

⇒ 9教科10科目の対応が難しい

- 開設できる部活動の数に制約が生じる。

4 適正規模、適正配置に向けた取り組み

(1) 小規模校

- ① 学校の統合
- ② 学校選択制の導入
- ③ 小規模特認校制
- ④ 通学区域の見直し

(2) 大規模校

- ① 学校の分離
- ② 施設の増築
- ③ 通学区域の見直し

5 学校規模に起因する デメリット緩和に向けた手段

(1) 小規模校

- ① 教員の加配置や複数校兼務
- ② 小中一貫教育、義務教育学校
- ③ ICT機器の活用

(2) 大規模校

- ① 教員の加配置

おわりに



児童生徒数の減少に伴い、学校の統廃合は将来的に避けて通れない大きな課題です。

学校の標準規模化を図るなど、次代を担う子どもたちにとって、地域・保護者・教育委員会が一体となって、よりよい教育環境となるよう考えていく必要があります。

